

2026 年 7 月 24 日

福島大学「小高まちなかランチ」開所のお知らせ

日本国土開発株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:林 伊佐雄)は、国立大学法人福島大学、南相馬市および一般社団法人南相馬ミライエと連携して整備を進めてきた福島大学の地域拠点「小高まちなかランチ」が、このほど開所したことをお知らせいたします。

当社は2026年3月11日、福島大学、南相馬市、南相馬ミライエとの4者による連携協力協定を締結し、教育・人材育成、地域課題の解決および地域コミュニティの再生・活性化を目的として、小高区内への福島大学サテライト拠点設置に向けた取り組みを進めてまいりました。

今開所式には、福島大学、南相馬市、日本国土開発、南相馬ミライエをはじめ、復興庁、福島県、福島イノベーション・コースト構想推進機構、福島国際研究教育機構(F-REI)、地域団体など多くの関係者が出席し、新たな地域連携拠点の門出を祝いました。

「小高まちなかランチ」は、学生や教員が地域に滞在しながら学習・研究活動を行う教育研究拠点として整備されました。宿泊機能を備え、福島大学がこれまで実施してきた「むらの大学」や「協働プロジェクト学修」などのフィールドワークや教育活動の拠点として活用されるほか、地域住民との交流、公開講座やワークショップの開催などを通じて、地域と大学をつなぐ“知の交流拠点”としての役割を担います。

また、本拠点には当社による企業版ふるさと納税を活用した寄附金が活用されており、施設改修費の一部を支援しました。開所式では、その貢献に対し、南相馬市から当社へ感謝状が贈呈されました。



テープカットの様様。画像左からOWB 株式会社代表取締役、一般社団法人南相馬ミライエ代表理事、南相馬市長、福島大学長、日本国土開発株式会社代表取締役社長、小高行政区長会連合会長、小高商工会会長



感謝状贈呈の様様。画像左から林伊佐雄・日本国土開発代表取締役社長、門馬和夫・南相馬市長

当社は東日本大震災以降、南相馬市において除染事業、河川堤防整備、防災公園整備などの復旧・復興事業に携わってまいりました。さらに、2016年には福島エコクリート株式会社を設立し、2025年には機能性吸着材製造拠点「ANION南相馬工場」を開設するなど、地域産業の振興や雇用創出にも取り組んでいます。

避難指示解除から10年の節目を迎える小高区では、地域コミュニティの再生や次世代人材の育成が重要な課題となっています。「小高まちなかランチ」は、震災と原子力災害の経験を次世代へ継承しながら、地域課題の解決と人材育成を結び付ける新たな活動拠点として期待されています。

日本国土開発は今後も、産学官民の連携を通じて地域課題の解決に取り組み、福島の持続的な発展と地域創生に貢献してまいります。

■小高まちなかランチの概要

名 称 : 福島大学小高まちなかランチ
開所日 : 2026年7月1日
所在地 : 福島県南相馬市小高区仲町1丁目 6 9 - 2
運営主体 : 国立大学法人福島大学
主な機能 : 滞在型復興支援・教育研究活動拠点、公開講座・ワークショップ、地域交流拠点

以上

この件に関するお問い合わせ先

日本国土開発株式会社 サステナビリティ経営本部戦略部 電話: 050-1735-9468